

ほけんだより

第430号 令和5年12月1日 光明第一保育園

ジングルベルが響いてくる季節。子どもたちは寒さに負けず、元気に遊んでいます。感染症の流行がピーク期を迎えます。手洗い、うがい、咳エチケットで感染症予防をしながら、体調管理には十分気をつけていきましょう。

感染症予防対策

保育園では感染症が拡大することが無いよう、日頃から感染症予防対策に努めています。その一つに、全職員を対象に行う「感染予防」の内部研修があります。冬に流行する「胃腸炎」の症状の一つに嘔吐があります。吐物からの感染を防ぐために、嘔吐時の処理方法を練習しています。



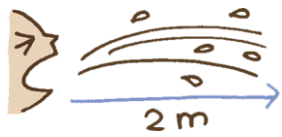
正しい手洗いしていますか？

ウイルスが手についても、洗い流せば感染のリスクが下がります。手を洗うときは、30秒くらいかけて、隅々まで丁寧に洗うことが大切です。3歳頃まではおうちの人の援助や見守りが必要です。

- ①手をぬらして石鹸をつける
- ②手のひらを洗う
- ③手の甲を洗う
- ④指先、爪の周囲を洗う
- ⑤指の間を洗う
- ⑥親指をねじり洗い
- ⑦手首を洗う
- ⑧石鹸を流す

ウイルス、どうやってうつる？

汚れた手で、目や鼻、口を触るとウイルスが体内に入ります。



せきは1m、くしゃみは2m 飛沫が飛ぶので、近くの人が吸い込むと感染します。

手ではなく、ハンカチやティッシュ、何もない場合は腕で口元を覆うことを教えましょう。

口や鼻を覆わずにせきやくしゃみをするとうイルスの入った飛沫を拡散させてしまいます

咳エチケットをおしえましょう

何もしないでせきやくしゃみをする

せきやくしゃみを手で押さえる

ハンカチやティッシュペーパーで口鼻を押さえる

そでやひじの内側で口鼻を押さえる